

(別添)

2019年2月28日

N I T E (ナ イ ト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

法人番号 9011005001123

製品安全センター大阪本部

News Release

「誤った使い方が火災の導火線に！」 ～配線器具や充電ケーブルで火災、やけどが発生～ -近畿2府4県における事故の防止-

1. 配線器具

(1) 事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報^{※1}において、配線器具による事故は、近畿地方2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)では、2013年度から2017年度までの5年間に合計92件ありました。

(ア) 年度別 府県別 事故発生状況

表1に「年度別 府県別 事故発生件数」を示します。

表1 年度別 府県別 事故発生件数^{※2}

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2013年度	1 [1]	3 [0]	6 [3]	6 [5]	1 [1]	1 [0]	18 [10]
	2014年度	3 [2]	3 [3]	3 [2]	5 [3]	2 [2]	0 [0]	16 [12]
	2015年度	0 [0]	1 [0]	13 [9]	2 [2]	5 [2]	1 [0]	22 [13]
	2016年度	1 [0]	3 [1]	6 [2]	10 [4]	1 [0]	0 [0]	21 [7]
	2017年度	1 [1]	2 [0]	8 [5]	1 [0]	2 [1]	1 [0]	15 [7]
合計	事故件数	6	12	36	24	11	3	92
	火災件数	[4]	[4]	[21]	[14]	[6]	[0]	[49]

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。[]は火災件数。

(イ) 製品別 府県別 事故発生件数

表 2 に「製品別 府県別 事故発生件数」を示します。

表 2 製品別 府県別 事故発生件数

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合 計
延長コード・テーブルタップ		4 [2]	10 [3]	29 [16]	18 [11]	7 [3]	3 [0]	71 [35]
コンセント		1 [1]	1 [1]	5 [4]	5 [3]	2 [2]	0 [0]	14 [11]
マルチタップ		0 [0]	1 [0]	2 [1]	1 [0]	1 [0]	0 [0]	5 [1]
そのほか		1 [1]	0 [0]	0 [0]	0 [0]	1 [1]	0 [0]	2 [2]
合計	事故件数	6	12	36	24	11	3	92
	火災件数	[4]	[4]	[21]	[14]	[6]	[0]	[49]

(ウ) 事故原因区分別 被害状況別 事故発生件数

表 3 に「被害状況別 府県別 事故発生件数」を示します。

表 3 被害状況別 府県別 事故発生件数^{※3}

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合 計
人的被害	死 亡	1 (1) [1]	0 (0) [0]	1 (1) [1]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	2 (2) [2]
	重 傷	0 (1) [0]	0 (0) [0]	0 (1) [0]				
	軽 傷	1 (3) [0]	0 (0) [0]	3 (3) [0]	5 (5) [3]	0 (0) [0]	1 (1) [0]	10 (12) [3]
物的被害	拡 大 被 害	3 [2]	12 [4]	24 [17]	16 [9]	7 [6]	1 [0]	63 [38]
	製 品 破 損	1 [1]	0 [0]	8 [3]	3 [2]	4 [0]	1 [0]	17 [6]
合計	事故件数	6	12	36	24	11	3	92
	被害者数	(5)	(0)	(4)	(5)	(0)	(1)	(15)
	火災件数	[4]	[4]	[21]	[14]	[6]	[0]	[49]

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には、重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(2) 事故事例

(ア) 外力が加わったため、発生した事故

2016年7月（兵庫県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

事務所内で延長コードに電気製品を接続して使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

延長コードは床面コンセントに接続されており、足や椅子が当たって電源プラグに外力が加わりやすい状態で長期間使用されたため、電源プラグ栓刃に亀裂が生じ、通常より異常発熱して出火したものと考えられる。

なお、取扱説明書には「コードを引っ張らない。無理に曲げない。」旨、記載されている。

(イ) 定格を超える電気製品を接続したことによる事故

2013年8月（兵庫県、30歳代・女性、製品破損）

【事故の内容】

延長コードに複数の電気製品を接続して使用中、当該製品を溶融し、周辺を汚損する火災が発生した。

【事故の原因】

接続可能な最大電力（1,500W）を大きく超える電気製品を接続（最大2,580W）し、使用していたため、過電流により電源プラグ部が過熱して溶融したものと考えられる。

なお、当該製品の電源タップ部には「合計1500Wまで」の旨、表示されている。

(ウ) トラッキング現象による事故

2018年1月（大阪府、60歳代・男性、拡大被害）

【事故の内容】

延長コードの電源プラグ付近から発煙し、周辺を焼損した。

【事故の原因】

2本の延長コードの接続部にペットの尿がかかったため、電源プラグ栓刃間でトラッキング現象が生じ、焼損したものと考えられる。

2. 充電ケーブル

(1) 事故発生状況

NITE（ナイト）に通知された製品事故情報^{※1}において、充電ケーブルによる事故は、近畿地方2府4県（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）では、2013年度から2017年度までの5年間に合計17件ありました。

(ア) 年度別 府県別 事故発生状況

表4に「年度別 府県別 事故発生件数」を示します。

表4 年度別 府県別 事故発生件数^{※2}

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
事故発生年度	2013年度	0 [0]	0 [0]	1 [0]	3 [0]	0 [0]	0 [0]	4 [0]
	2014年度	0 [0]	0 [0]	2 [0]	1 [0]	1 [0]	0 [0]	4 [0]
	2015年度	0 [0]	0 [0]	3 [1]	1 [0]	0 [0]	0 [0]	4 [1]
	2016年度	0 [0]	0 [0]	1 [0]	0 [0]	1 [0]	0 [0]	2 [0]
	2017年度	0 [0]	0 [0]	1 [0]	2 [0]	0 [0]	0 [0]	3 [0]
合計	事故件数 火災件数	0 [0]	0 [0]	8 [1]	7 [0]	2 [0]	0 [0]	17 [1]

(イ) 事故原因区分別 被害状況別 事故発生件数

表5に「被害状況別 府県別 事故発生件数」を示します。

表5 被害状況別 府県別 事故発生件数^{※3}

		滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	合計
人的被害	軽傷	0 (0) [0]	0 (0) [0]	5 (5) [1]	2 (2) [0]	0 (0) [0]	0 (0) [0]	7 (7) [1]
	物的被害							
	拡大被害	0 [0]	0 [0]	2 [0]	1 [0]	2 [0]	0 [0]	5 [0]
	製品破損	0 [0]	0 [0]	1 [0]	4 [0]	0 [0]	0 [0]	5 [0]
合計	事故件数	0	0	8	7	2	0	17
	被害者数	(0)	(0)	(5)	(2)	(0)	(0)	(7)
	火災件数	[0]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]

(2) 事故事例

(ア) コネクタ内部に異物が付着してショート・異常発熱した事故

2015年5月（兵庫県、年齢不明・男性、軽傷）

【事故の内容】

スマートフォンを充電中、ACアダプターとの接続部が溶融し、指に火傷を負った。

【事故の原因】

スマートフォンと充電ケーブルを接続するコネクタ内部に導電性異物が付着したため、ショートが生じて異常発熱し、指に火傷を負ったものと考えられる。

なお、取扱説明書には「充電端子や外部接続端子を水等の液体で漏らさない。火災、火傷等の原因となる。」旨、記載されている。

(イ) コネクタが変形してショートした事故

2018年1月（兵庫県、10歳代・男性、製品破損）

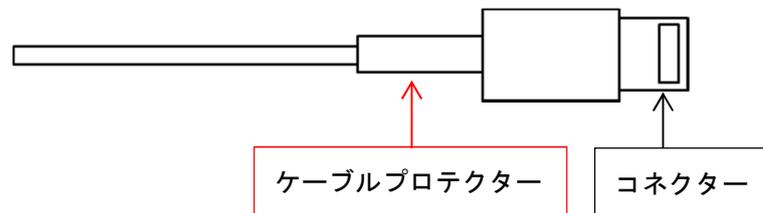
【事故の内容】

スマートフォンを充電中、異臭がして、充電ケーブルの接続端子部が溶融した。

【事故の原因】

スマートフォン側のケーブルプロテクター付近に過度な応力が繰り返し加わったため、芯線が半断線状態となり、異常発熱してショート・焼損したものと考えられる。

なお、スマートフォンの取扱説明書には「繰り返しの屈曲や、折り曲げない。ケーブルが破損し火災の原因となる。」旨、記載されている。



3. 配線器具及び充電ケーブルの事故の実験映像について

配線器具及び充電ケーブルの事故の再現実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像等をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてくださいますようお願いいたします。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北1-22-16

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター

担当者：リスク評価広報課 柿原、佐藤、前野

電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617